# 日耳鼻医会ＦＡＸニュース　NO １２１

平成１８年１０月２５日　　発行 (特) 日本耳鼻咽喉科医会　E-mail　jimu@jenti.or.jp　HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8　全医協連会館5F　FAX　03-5524-5228　TEL　03-5524-5230

## ◎平成１８年度第１回医会長協議会ご案内

【日時】平成18年11月26日（日）午後０時30分～
【場所】日耳鼻医会事務所
【講演】西島英利参議院議員
【報告事項】
１．愛媛フォーラムについて
２．１８年度点数改定について
３．社会保険事務局の指導について
４．学術集会などの製薬会社への協賛依頼について
【協議事項】
１．来年の参議院選挙、政治連盟の設立について、
２．医事紛争に関する情報について
３．各地区耳鼻科医会の社会的活動の現状について
（耳の日、鼻の日への取り組み、癌検診、在宅医療、難聴者への支援など）
４．若手耳鼻科医の加入促進について
協議会終了後懇親会を予定しております。

## ◎東京都耳鼻科医会、武見氏に推薦状送る

東京都耳鼻咽喉科医会（石山英一会長）は、来年７月の参議院選挙では日本医師連盟が推薦した武見氏を医会としても全面的に推薦するという事が全会一致で承認されたため先日武見氏に推薦状を送ったと発表した。

## ◎「日本臨床耳鼻咽喉科医師政治連盟」を設立

これからの医療を支えるためにも「医政なくして医療無し」で、耳鼻科医も医政に無関心であってはならず、その為には何が出来るかということで、10月15日、日耳鼻医会第３回全理事会終了後、検討を行い、出席者全員一致で政治連盟を設立することを承認、名称を「日本臨床耳鼻咽喉科医師政治連盟」とし、委員長に清水淑郎氏が就任した。規約などは後日検討。

## ◆小泉政権下での医療政策を総括

５年半の小泉政権が終了したことを受けて、中川俊男日医常任理事は、9月27日記者会見を行い、改めて小泉政権における医療政策の総括を行った。

そのなかで、「『改革なくして成長なし』というフレーズは小泉前総理の持論だが、これは『破壊なくして創造なし』に通じ医療については破壊のみで終わった感が否めない」とその医療政策を批判。具体的な問題点として、(1)度重なる診療報酬のマイナス改定、いわゆる混合診療の適用拡大などの給付費の抑制策（国庫負担の軽減）、(2)窓口負担の引き上げ、療養病床における居住費、食費の自己負担化など家計への負担の転嫁、(3)伸び率管理制度など、官による医療費コントロール手法を導入しようとした、(4)株式会社による医療機関経営の条件付容認など、民間企業への利益誘導―を列挙した。

また、「骨太の方針2006」にある社会保障費を今後5年間で1.1兆円削る方針に関しても、これ以上の締め付けは医療の質や安全の確保を困難にするとして、改めて反対姿勢を示した。

一方、安倍新政権に対しては「医療は国民の生命と生計の安心を支える国家安全保障である」という認識を共有しつつ、建設的な議論を重ねていきたいとした。

## ■厚生労働副大臣に武見敬三氏就任

西島英利参議院議員は自民党国会対策副委員長に

９月26日第90代首相に任命された安倍晋三自民党総裁は同日午後に安倍内閣の閣僚名簿を発表。厚生労働大臣に柳澤伯夫氏、同副大臣に当会理事で参議院議員の武見敬三氏と石田祝稔衆議院議員が就任した。

武見副大臣は、平成７年の参議院議員選挙で初当選以来、外務政務次官、参議院厚生労働委員会理事、参議院外交防衛委員長などを歴任。９月27日に記者クラブで就任挨拶を行った武見副大臣は、子ども・子育て応援プランの実現に強い意欲を示した。

## ■緊急レセプト調査6～8月診療分（累計）の結果を公表

中川俊男日医常任理事は、10月17日の定例記者会見で、本年６月から８月の診療分（累計）に関する緊急レセプト調査の結果を公表。今回も、厚生労働省の予測値を超える影響が医療機関に出ていることを明らかにした。

この調査は、全国の日医会員からランダムに抽出した医療機関の協力を得た。今回の有効回答数は診療所1754、病院152の合計 1906施設。

厚労省は、3.16%の引き下げでも、理論上、医療費の伸びがマイナスになることはないと主張していた。しかし、調査結果では、診療所では、総点数が入院で対前年同月比5.64%減、入院外で1.25%減と、いずれも厚労省の見通しを大きく下回っている。同常任理事は、この要因について１日当たり点数が減少したことに加えて、日数の減少に歯止めがかからなかったためではないかと指摘。一方、病院の総点数も、入院（0.27%減）、入院外（1.62%減）ともマイナスとなった。これについては、１日当たり点数が入院、入院外ともプラスとなったものの、総日数が大きく減少したことが響いたのではないか、とその要因を分析した。

## ■最近の医事紛争より

## ○鼻にガーゼ放置、250万円支払和解

藤沢市は８月25日、同市民病院耳鼻咽喉科医師が手術後、患者の鼻の中からガーゼを取り忘れる医療ミスがあり、250万円の和解金を支払ったと発表した。

同市によると、04年６月９日、男性医師２人が女性に鼻孔内の手術を行い、14日に手術で挿入したガーゼ７枚を抜き取ったが１枚を取り忘れた。10月22日、通院先で医師が気づき、取り除いた。女性はガーゼを放置されたことで後遺症が残り、更に治療が必要になったという。

記事　毎日新聞社　提供　毎日新聞社　06年８月26日